

A 「発達障がい児の楽しい感覚・運動遊び」

森田安徳先生（神戸親和女子大学非常勤講師）

1、感想・意見

・本年度、公立小支援学級担任になり、初めて重度の自閉症のお子さんの担任となりました。4月からそのお子さんとどう関わるか、信頼関係をつくっていくかと悩み、様々な研修や、本を読んで勉強してきました。3学期になり、ようやく少しずつではありますが、関係が築けてきたと感じています。今日の研修を受けて、少しでもそのお子さんの遊びの幅を広げることができればと思いました。バスタオルや紙わっかをつかった活動を月曜日からぜひ試してみたいと思います。とても勉強になった2時間でした。ありがとうございました。

・ありがとうございました。事例もとてもたくさんあってわかりやすかったです。

・大変わかりやすい解説と内容でした。ありがとうございました。具体的なDVD、購入可能なDVDの紹介もありがたいです。

・森田先生の研修の継続を希望します。午前もやってほしかったです。動画ももっと見たかったです。

・感覚統合遊びがどのような成長を子どもたちに与えるのか具体的な実践と理論を学ばせて頂き、大変勉強になりました。ありがとうございました。森田先生の話をもっと聞いて、学び続けて実践していきたいと思いました、また、よろしく願います。

・とても参考になり、すぐに実践したくなりました。ありがとうございました。もっと聞きたいと思い、またこのような機会がほしいです。

・たくさんの実践例を挙げてわかりやすく話していただき、すぐに指導にいかせるものを見つけたことができました。

・とっても参考にさせていただける内容でした。今、支援学級で担任していますが、身体づくりができる時間がほとんどなく、少ない時間で授業前にできないものはないものかと探していたところです。ADHDの子どもは、体の一部を止めて一部を動かすことが確かに苦手だろうなと思いながら聞いていました。まずは、ゆっくりした動きや今は止めるなど声掛けやカードなどを示しながら動かすことを取り入れていこうと思いました。スクーターボードも学校にあります、あまり活用できていなかった、今日学んだことを活かし、もっと活用させたいと思いました。ありがとうございました。

・運動と学習と聞くと別々のものと区別してしまいがちですが、深いつながりがあることがわかりました。特に最後のキレる子の話はとても興味深かったです。身近な人の笑顔に強く反応すること、これからも心にとめて指導していきたいと思います。

・運動や遊びは子どもたちが大好きで目がキラキラします。学習や情緒の安定のためにどう取り入れたらいいか考えていたので、大変参考になりました。特に、親しい人との接触やコミュニケーションが大切ということが勉強になりました。これから取り入れていきたいです。課題としては、どの頻度、時間、タイミングでそのような内容を取り入れていくかを考えたいと思います。